

学校教育目標	<自立し、貢献できる人> 「知」:生きてはたらく知 学びの楽しさを知り、自ら目標や夢に向けて学び続ける力を大切にします 「徳」:豊かな心 自分を律する力と自他尊重の態度と心を大切にします 「体」:健やかな体 粘り強く最後までやり遂げるたくましい心と体を大切にします 「公」:公共心と社会参画 他者と協働する力と人の役に立とうとする心(貢献)を大切にします 「開」:未来を開く志 視野を広げ、自己実現力(自立)を大切にします				
	創立 64 周年 児童生徒数: 778 人	学校長 丸山 弘之 主な関係校: 矢向小学校 新鶴見小学校	副校長 石井 圭子	3 学期制	一般学級: 21 個別支援学級: 6

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	矢向中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
「自立と貢献」 <社会的自立・自己実現力> <協働・共生力> <自他の幸福追求力>	矢向中学校 矢向小学校 新鶴見小学校	輝く未来を切り拓く、たくましい子 ○「児童生徒の幸福実現を目指す支援・指導」 ○義務教育終了時の「自立・貢献」実現を目指した9年間の教育活動 ○授業体験と部活動体験を通じた児童生徒交流 ○重点研・校内授業研の相互参加。学力向上に向けた研究協議会

中期取組目標	☆「自立と貢献」の実現に向け、生徒が、成功体験・達成感・充実感を獲得できる教育活動を実践する。 ○だれひとり取り残すことのない教育実践。「基礎学力の定着・主体的に学習に取り組む学習活動の実践・個に応じた指導」の充実【知】 ○自他の尊重・人権意識の向上・いじめ根絶を目指した教育活動【徳】 ○自他の生命尊重・心身の健康と安全を意識した社会生活実現を目指す、「健康教育・保健体育・食育」の充実【体】 ○「キャリア教育・特別活動・人権教育・総合的な学習」の取組を常にブラッシュアップし、個に応じた社会的自立と社会貢献力を育成する。【公】【開】
--------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 学習指導 担当 学習指導部・研修担当・教科主任会	①「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」の育成を目指し、「主体的な学び」を実現する授業実践②「育てたい資質・能力」の明確化と具現策を研究。授業実践での実現③生徒による授業評価を活用した授業改善④指導主事を活用した授業研究、協議の実施
<b>徳</b> 人権教育 担当 人権教育・生徒指導部	①いじめ根絶を目指した生徒指導②道徳授業充実③人権学習活動の充実。発達段階と課題に応じた「人権講演会」の実施④福祉委員会の活動充実⑤自己肯定感の育成
<b>体</b> 健康教育 (食育含む) 担当 保健指導部・保健体育科	①「生涯スポーツ」の実現を目指す保健体育科授業改善②自他の「生命尊重」「健康・安全」を実践できる生徒の育成。主体的に課題を解決できる生徒の育成。③中学校給食を中核とした食育の充実
<b>公 開</b> キャリア教育 自分づくり 担当 特活指導部・通路指導主任・総合的学習担当	①人権学習・福祉学習の充実。共生社会の実現を目指す生徒の育成 ②全ての教育活動を通じ義務教育終了時の「社会的自立・社会貢献」の実現 ③職業講話・職場体験の工夫と改善
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止対策委員会	○いじめに関する研修実施、全教職員の意識向上○1on1ミーティング(教育相談)や生活アンケートから課題を見逃さない組織体制の維持発展○「いじめ防止対策委員会」による組織的な取組・対応○いじめの早期発見・適正対応○認知案件への丁寧な対応、再発防止
<b>人材育成・ 組織運営(働き方)</b> 担当 研修担当・教務係	○OJT・研修会によるキャリアステージに応じた研修の充実○教職員リーダーの育成。校内外の研修の機会を積極的に活用○教職員相互の研鑽による、目的を明確にした気付きと改善につながる研修を推進
<b>学校地域連携・共働</b> 担当 地域連携担当・教務部	○地域の方々による授業・行事への幅広い参加・参観。教育活動の客観的な評価・学校運営改善に繋げる。○地域連携・共働実現に向けた「地区集会」開催・「地域行事ボランティア」参加の推進
<b>特別支援教育</b> 担当 特別支援委員会	○「校内ハートフル」の充実、所属生徒の自己肯定感の向上○一般学級における特別支援教育活動の推進○個別支援学級の指導支援の充実、環境整備○欠席の多い生徒への支援の充実○個別の支援計画・指導計画の作成と活用、評価の流れの確立、運用に対する教職員の意識向上
<b>情報教育</b> 担当 総務部情報係・学習指導部	○個別最適な学びと情報活用能力の充実を図るためのICT活用を一層推進する○横浜版教育DXを活用したデータに基づく指導改善と校務の効率化を進める。AIDリル導入等、新規取り組みに関して教職員研修を行い、全教員のICT活用力向上につなげる。
<b>生徒指導</b> 担当 生徒指導部	○全ての生徒の心情に寄り添った丁寧な生徒指導の実践○生徒の健全育成を目指すパートナーとして、保護者との連携協働を推進○生徒指導における教職員の組織対応とベクトルの方向の統一○生徒指導記録・聴取記録の徹底と活用○関係機関・他校との連携推進・強化○SCによる新入生全員グループ面談の実施、子育て講演会の実施